

さいたま市長メッセージ（令和2年7月14日）

皆さん、こんにちは、さいたま市長の清水勇人です。

ここ数日、東京都で200名を超える新規陽性者が報告されています。本市でも、接待を伴う飲食店で3件のクラスターが発生しており、6月26日から7月13日までに計95名の新規陽性者が判明しています。このうち20代、30代が58名と約6割を占めています。

本市では、今が感染拡大防止の重要な時期と認識しており、緊張感を持って、対応しているところです。

接待を伴う飲食店での感染をこれ以上拡大させないため、クラスターが発生した大宮地区南銀座地域の接客を伴う飲食店226店舗（7月10日発送分）に、社交飲食業における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインに則して対応していただくよう通知し、協力をお願いしました。

また、通知した店舗のうち、キャバクラやホストクラブについては、埼玉県と協力し、7月15日から、全従業員を対象としたPCR検査を実施します。当地域の感染拡大防止にあたっては、地元商店街と協力して取り組んでまいります。

7月11日に埼玉県が、特別措置法に基づく協力要請を发出了しました。市民の皆様は、体調が悪いときは外出を自粛し、感染症対策が十分に取られていない施設の利用を避けてください。

事業者の皆様は、県や業界のガイドラインを活用した感染症対策を徹底していただくとともに、従業員に感染者が発生した際には、保健所が行う疫学調査や従業員のPCR検査にご協力ください。

市内の新規陽性者数は増加傾向にあります。市民の皆様には、今一度、基本

に^た立ち^{かえ}返り、^て手^{あら}洗^い・^{せき}咳^エチ^ケット、^{みつ}密^さを^さ避^ける^等、^{とう}感^{かん}染^{せん}リ^スク^を避^さけ^る行^{こう}動^{どう}
を^{ねが}と^って^いた^だき^ます^よう^お願^いい^たし^ます。